

Title	チェーンストアの店舗戦略と営業成果
Sub Title	
Author	大西義威(Oonishi, Yoshitake) 片岡一郎
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1982
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001982-0186">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001982-0186</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	大西義威	主査	片岡一郎
	(株式会社 ダイエー)	副査	嶋口充輝
所属ゼミナール	和田充夫研		和田充夫

## チェーンストアの店舗戦略と営業成果

本研究は、厳しい小売環境下にあるチェーンストアがなすべき戦略は何かという問題意識を出発点として、分析の単位を店舗に絞り、店舗戦略と営業成果の関係について、小売業の市場法則性の視点からみたものである。

具体的に分析した事柄は、フィスクの言う店舗レベルでの戦略変数から導き出した、18の店舗戦略変数と環境変数としての需要および競争変数の計20の変数が、店舗レベルでの営業成果としての営業利益率、総営業利益率、1人1坪当り売上高にどう影響しているかである。

分析の方法は、はじめに店舗形態のパターン化を行ない、次に、各店舗形態間に営業成果の差が存在するかどうかについて、また、同一店舗形態内の営業利益率の変動は何によって説明されるのかについて、仮説を設定し、検証を行なった。

仮説検証の結果、店舗戦略変数の組合せパターンで示された店舗形態間には営業成果の差が存在すること、および同一店舗形態内の営業利益率の変動を説明する特定の店舗戦略変数の組合せがあることが分った。また、仮説以外の小売業の市場法則性については立地およびシェアと営業成果の関係等が示された。

最後に、これらの分析結果から得られた結論をチェーンストアの店舗戦略表として提示し、本研究のまとめとした。